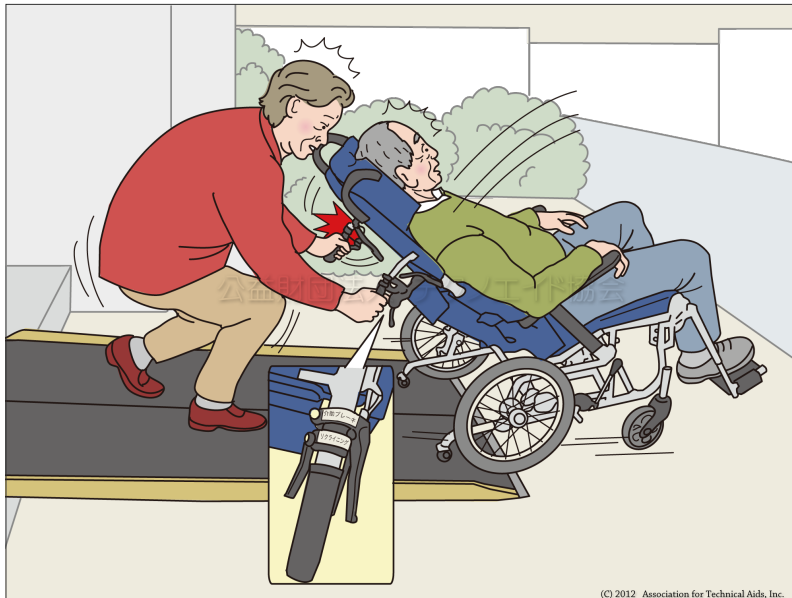


Case : 154

誤ってリクライニングレバーを握ってしまい、転倒しそうになる

場面の説明

ブレーキをかけようとしたが、誤って近くに付いていたリクライニングレバーを操作してしまった



利用シーン

移動
外出

主な利用場所

玄関
段差・縁石

介護保険の種目

車いす

分類コード (CCTA95) 122190(姿勢変換機能付き車いす)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

リクライニングやティルト機構の付いた車いすでは、経験した人も多いのではないのでしょうか。このような機能の操作レバーがブレーキの操作レバーと似ていることが混乱の原因です。形状や色を変えることで、間違いを防ぐ対策をしている車いすもありますが、判別しづらい機種もあり、利用者側でわかり易いマークをつけておくなどの工夫をすることもヒヤリ・ハット防止には役立つでしょう。

参考要因

人：操作に慣れていなかった
モノ：操作レバーが同じ箇所にたくさんついておりわかりづらい